

見学時チェックリスト

見学日時	
老人ホーム	
施設種類	
対応者	

チェック項目	チェックポイント	✓	メモ	アドバイス
料金	料金（基本料金）			料金についての資料は必ずもらうようにしましょう。
	料金（その他料金）			食事、リハビリ、医療等、基本料金以外でかかる料金は全て確認しましょう。
	料金（支払いプラン）			継続的に利用出来るようなプランを選択するようにしましょう。
	入退去条件			入居時のことだけでなく、「こういう場合は退去になります。」といった退去時の条件は細かく確認しておかないと、後々大きな問題になります。
立地	交通の便			駅や職場、家からの距離を考慮して通いやすいところが良いですね。
	周囲の環境			病院や自然環境など、入居者の生活に関係してくる部分は確認しましょう。
面会	面会スペース			専用スペースがない場合は、共有スペースでの面会になりますので、そうなると、清潔面も気になりますね。
	面会や外泊ルール			ルールを事前に確認しておくことで、実際の面会時にスムーズに進めることが出来ます。
入居者	入居者の年齢や性別、要介護度			入居者の方の性格により、同性が多い方が良い、年齢が近い方が良いと各希望があると思いますので、希望に沿って見学してみましょう。
	入居者同士の交流			交流頻度や、交流内容を確認すると、入居後の生活が想像しやすくなります。
	プライベートスペースとコミュニティスペースの区分け			スペースはそれぞれわかりやすく分けられている方が良いですね。
スタッフ	言葉遣い			丁寧ということだけではなく、入居者に対して、見学に来ている自分（お客）に対しての言葉遣いをそれぞれ確認するようにしましょう。
	身だしなみ			むしろ設備のきれいさよりも、服装、髪形、靴等、スタッフの身だしなみが清潔感のあるものかどうかの方が気になりますよね。

	介護体制（日中帯・夜間帯）			看護師や、理学療法士等、専門スタッフも何名いるかそれぞれ確認した方が良いでしょう。
リハビリ	設備			量ではなく、「したいことが出来るか」を基準にしてみた方が良いでしょう。
	機能訓練指導員などリハビリに特化した職員配置			理学療法士、作業療法士、看護師等、資格もあわせて確認出来ればしたいところです。
	頻度や内容、料金			お体の症状により希望のリハビリがある場合は、可否を確認しましょう。
医療	服薬管理、インスリン注射等個別対応の可否			命に係わる重要な部分になりますので、細かく確認をするようにしましょう。
	協力医療機関			細かい部分ではありますが、必ず確認をしましょう。
	看護職員の配置			多い方が安心ではありますが、安心してお願い出来る方がいらっしやると良いですね。
	看取り体制（緊急時の対応）			実際の対応を見学することは難しいので、緊急搬送時の対応等細かく確認しておくことが必要です。
食事	食事メニュー（バリエーション・特別食の対応可否）			食事は楽しみの一つとなりますので、実際に試食を試してみるのがオススメです。
	味・量・見栄え			これは好みの問題ではありますが、1番気になる部分ではあります。
	調理場所・調理者			味に影響する部分でもありますので、確認しましょう。
	口腔リハビリの有無			入居時点で必要がない方でも、あると安心するリハビリです。
	食堂の広さやにおい、清潔さ			実際に食事提供時の様子が見れたら、判断しやすいですね。
入浴	個浴、機械浴の有無			お体の症状により希望があるかと思しますので、確認するようにしましょう。
	位置や設備（手すり・車いす対応）			居室同様、入浴の際に危険になるものがないか、イメージしながら見学をしてみると良いですね。
	広さやにおい、清潔さ			敏感な場所だからこそ、不快な思いをしないよう、細かく見ておきたいですね。

	入浴回数・入浴時間帯			個人に合わせて決められるのか、ルールがあるのか、確認しておきたいです。
共有 設備	位置			居室との距離も気になる場所ですね。
	設備（手すり・車いす対応）			不便なく生活出来るかという点の他に、窓や扉の開閉部分に工夫がなされているかなど、危険が潜んでいないかチェックしておきましょう。
	広さやにおい、清潔さ、明るさ、室温			敏感な場所だからこそ、不快な思いをしないよう、細かく見ておきたいですね。
	バリアフリー			段差や、物が置いてあって通行の妨げになっていないかなど、ケガを防ぐために実際に歩いて確認してみましよう。
居室	広さやにおい、清潔さ、明るさ、室温			多くの時間を過ごす居室だからこそ、1番気にしたい部分です。
	設備			段差の有無、ベランダの有無等、入居したときに不便がないか、危険がないか、隅から隅までひとつひとつチェック出来るのが理想です。
その他	アクティビティ（種類・頻度・料金）			生活のひとつの楽しみとなりますので、必ずチェックしましょう。
	入居可能日			入居を具体的に進めたい方は、確認しておくようにしましょう。
	今後の流れ（担当者・連絡先）			見学時に、入居に関して答えが出ない場合がほとんどとなりますので、見学後の入居までの流れや、担当者を確認しましょう。
個別 チェック ポイント				